

◇ 荒船山・浅間山・妙義山

2017年10月31日(火)～11月2日(木)

岡本

10/31、晴れの平日狙いで信州へ出発。相棒が見つからず、今回も一人山行。中央道に入り恵那トンネルを抜けると伊那谷は一面の紅葉、最高のドライブ日和だ。長野から信越道に入るが、高速道路は上田市手前から、丘陵地帯を走るため、菅平～浅間～荒船～八ヶ岳山麓の紅葉がヤバイ程綺麗だ。運転中のため写真を撮れないのが残念だ。取りあえず目標の内山峠へ向かう。

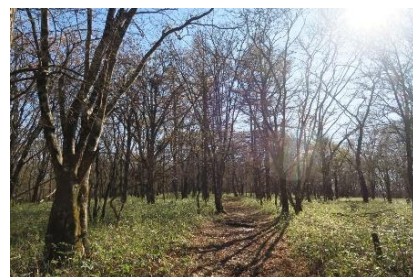
内山峠の上州側からエアーズロックのように見える鱧岩に向かう。最初は紅葉の樹林帯を進むが、途中から奇岩の間を抜けての道となる。急斜面の露岩を越えると平らな山頂に出、暫く行くと鱧岩だ。ここから、浅間山方面から碓氷峠、妙義山方面が一望でき、いくら見ても飽きない眺望が楽しめる。ここから最高峰の経塚山までもう既に葉が散ってしまった、ロマンチックな気分させるなだらかな広葉樹の林が続く。人の少ない、秋の好天日の、本当に気分の良い山歩きでした。



(紅葉の中の登山道)



(鱧岩から浅間～碓氷峠方面)



(葉の落ちた広葉樹の道)

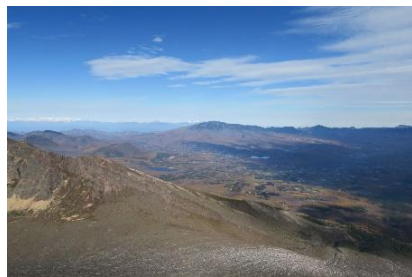
11/1、午前6時前に佐久のホテルを出発する。フロントガラスが凍り、真冬の寒さの中、標高1400mにある浅間山荘前まで行く。山荘からは煙が立ちこめ、何となくノスタルジックな気分のする場所を後に、凍てついた道を歩く。一の鳥居までは比較的緩やかな山道で、そこから二ノ鳥居まで徐々に登りがきつくなる。少し急な牙山の横を通り抜けると浅間神社のある火山館に出る。ここにも人がいるらしく、煙突から煙が立ちこめ何やら良い香りがする。



(火口原入口にある牙山)

ここから賽の河原分岐までなだらかな道が続き、そこから先は立入禁止のロープが張ってある。

が、踏み跡もしっかりしており、前掛山方面への標識もある。少し行くと雪が登山道に凍り付いているが、歩きづらくはない。それより風が強く、気温も氷点下であり、こちらの方が辛い。立入禁止の告知板のある尾根ま



(浅間山から四阿山・嬬恋方面)



(浅間山山頂もどき)

で行くと、更に風は強くなる。前掛山に向かうが、風が強すぎ中々前へ進めない。安全な斜面側に下り、防風姿勢を取りながらゆっくり進む。前掛山まで行くと浅間山の標識がある。飛ばされないようにその標識にもたれ写真を撮る。天気も良く、空気も澄んでいるため、遠くの方までよく見える。南には八ヶ岳から奥秩父、その向こうに富士山も見える。北は志賀・草津方面から四阿山・嬬恋高原が素晴らしい。黒斑山のある外輪山の向こうには雪を頂いた北アルプスも綺麗に見える。も

っと景色を楽しみたかったが、風が強く早々に下りる。



(剣ヶ峯、奥、奥秩父と富士山)



(後立山連山)



(黒斑山)

賽の河原分岐まで下り、次にJバンドを登る。この鋸岳から蛇骨岳までの岩稜の景色も素晴らしく、いくら見ても飽きない。更に黒斑山からトーミの頭まで行き、草すべりを下る。蛇骨岳からトーミの頭までは殆ど樹林帯だが、所々で雄大な浅間山の姿が楽しめ、草すべりからは、両方の雄姿が本当に綺麗に見える、思いのほか多様な姿を見ることができ、流石に日本を代表する名山の一つだと思った。(トーミの頭)



(外輪山と浅間山)



(草すべりから浅間山)

11/2、今日は妙義山、岩と紅葉の名所、天気も良く、紅葉の映える山だ。中之嶽神社前に車を駐め、第一石門から第四石門を順に巡る。紅葉は綺麗に見えるが、石門自体はこんなものかと言う感じだ。暫く中間道を行き、ホッキリ口から茨尾根にでる。ここから妙義山の最高峰の相馬岳を目指す。尾根筋は、急なアップダウンもあり、数カ所険しい場所もあるが、注意して歩けばそれほど危険な感じでもない。最後に数段に分かれた鎖場を登り切り、そこから暫く行くと相馬岳にでる。ここからは金洞山方面が綺麗に見える。



(金洞山)



(相馬岳)

下山は、タルワキ沢コルまで行き、そこから中間道まで沢を下る。このルートはよく歩かれていて、然程危険もないコースだ。ここから中之嶽神社まで戻るが、結構アップダウンがあり、標高差 300m 近く登り返す為、思いの外挺ずった。が、見るには本当に綺麗な山だ。



(大砲岩付近の紅葉)



(天狗の評定方面の紅葉)